

おおしろ
まさる
大城 勝議員

本町職員の研修
について問う

【答】
役場職員を育てる
ために欠かせない

問 職員の資質向上を図る等の研修はどのような形で行われているか。

副町長 研修の内容と方法に関しては、庁舎内研修として新採用職員研修、法政実務研修、接遇研修等。一般研修としては、県外研修や、県や沖縄県総合事務局への派遣も研修の一環として行っている。



新採用職員研修で施設の説明を受けている様子

問 本町の職員研修の在り方の観点からその思いを伺う。

副町長 職員研修の狙いは理想とする有能な役場職員を育てるために欠かせない。それは行政に課せられた責務であると理解している。

執務に当たっては町民の信頼を得られるよう高い論理感を持って、常に町民の側に立った事務執行を心がけてほしい。そういう観点から人材育成には日頃から町も力を入れているところである。

町行政をつかさどるものは町職員であり、職員には日々の執務を通して実務能力を磨いて、常に行政の主役は町民であるという認識を持つことが大切であり、職員研修を通してそのことを学んでほしい。

こんな質問もしました

- ・教育現場の安全対策について
- ・本町の環境衛生について問う

問 財政健全化計画の進捗状況はどうなっているか。

町長 社会情勢の変化に柔軟に対応し、行政サービスを低下させることなく着実に改善している。



財政健全化計画
の進捗を問う

【答】
着実に改善して
いる

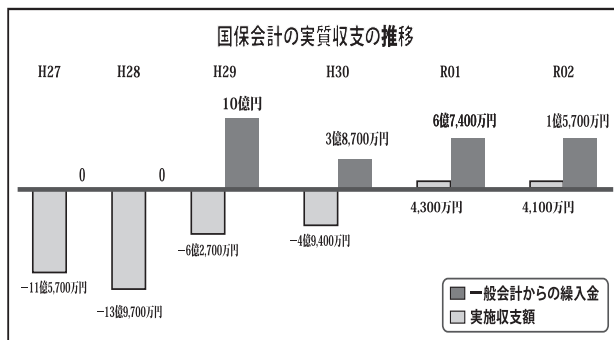
問 財政調整基金は順調に貯蓄できているか。

総務部長 標準財政規模の20%という目標があり、町の標準財政規模は約80億円で、その20%が16億円である。現在、目標は達成できている。

問 国民健康保険特別会計はどうなっているか。

町長 国保の累積赤字は解消した。

民生部長 県が令和6年度に税の統一を目指している。本町においても適正な税率の改正に向けて取り組み、国保事業の安定運営に努めていく。



(令和2年度 決算時点)

問 今後、電子黒板やタブレット、クーラーなどの買替が必要となるが、今後の整備計画はどうなっているか。

教育部長 長期の維持管理を財政計画の中で、取り組んでいく。

こんな質問もしました

- ・交通環境の整備を問う
- ・シルバー人材を活かせ
- ・青少年スポーツの競技力向上を